

卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。

今日の良き日を迎えることが出来たのは、皆様自身の毎日の努力はもちろんですが、これまで20年余りに渡って深い愛情を注ぎ、励ましてくださったご両親、ご家族、その他多くの人々の支援があったからこそです。皆様を支えてくださった多くの人々に「感謝の気持ち」を忘れないでください。

コロナが世界中で蔓延していましたが、発生から3年たってやっと収まりつつあります。皆様が1年生だった3月からこれまでの3年間、コロナのためにオンライン授業になったり、臨床実習が十分できなかったかもしれませんが、そんな中にあっても、皆様は本当によく頑張り、国家試験に合格されたことに、心から敬服いたします。

4月からは診療放射線技師として病院で働きますが、コロナで入院する患者には、胸のX線写真の撮影とCT検査が欠かせません。重症患者の正確な診断、的確な治療を行うには、診療放射線技師の撮影するX線写真とCT、MRIが大きな役割を果たしています。

大学では放射線の基礎から最先端の放射線技術まで学びましたが、放射線の医学利用、放射線診断・放射線治療は急速に進歩しています。現在の最先端技術も数年後には新しい技術に置き換わります。皆様はこれから50年近く診療放射線技師として仕事することになりますが、その都度、全く新しい技術を取り入れ、それをマスターし使いこなさなければなりません。その際には困難な局面にいくつも出会いますが、それらを解決し乗り越えてゆかねばなりません。これからも一生勉強です。ただ、それでもなかなか思うようにならないものです。予定通り計画通りには進みません。

「その場、その場でベストを尽くす」

しかありません。家族・友人・先輩・教師などに相談し、助けてもらい、励ましてもらいながら、努力しベストを尽くせば必ず道は開けてきます。難しいことに挑戦し、高い壁にはじかれながら、一步ずつ成長していきます。本学では難しい問題を解決する心構え、分からないことを理解するための努力などを学んだことでしょう。また困ったときには、いつでも大学に相談にきてください。卒業生の皆様には、大学は常にドアを開いています。

この4年間の大学生活で多くの友人、先輩・後輩が出来ました。卒業後も学友会あるいは学会・研究会等を通じて、これからも何度も顔を合わせるようになります。この京都医療科学大学は日本で最も歴史の古い診療放射線技師の学校ですし、現在も日本一の学校だと思います。4月から本校の卒業生であることを誇りに、病院で、学会などで活躍してください。

本校の卒業生は生涯仲間です。我々はこれからも一生のつきあいとります。この仲間意識、強いきずなが本校の誇りとなっています。1927年の創立以来、本学を卒業した4千人余りの先輩、学友会が本学の大きな財産です。

これからも生涯、本学の建学の精神である

「品性を陶冶し、有為の技術者を養成することを以て目的とする」

を、心に留めておいてください。放射線医療の技術とともに品性、人間性を磨いてください。仕事をしていると、どのような仕事であれ、必ずその人の人間性が現れてきます。

「卒業生の皆様が本学をさらに発展させる」という強い自覚と責任を持って、これからも本校の発展に寄与してくださることを期待しています。

卒業生の皆様が4月から診療放射線技師として活躍され、社会に貢献する人材になれることを心より期待しています。

皆様の輝かしい新しい門出を祝福して、私の饞の言葉といたします。

本日は卒業おめでとうございます。

2023年3月11日

学校法人島津学園 京都医療科学大学

学長 遠藤 啓吾